



花まるだより

2025
104

Hanamaru
Monthly
Newsletter



2025年4月

根っこ

この花まるだよりの冊子には、ページ下のところに「タカタコ」というものがあります。これは、普段教室長をしている社員たちの人柄や魅力が伝わるように、私自身がインタビューになって聴き取り書いている「高濱による他己（社員）紹介」の欄です。私自身が大勢いる社員やなかなか接することのない社員とコミュニケーションを取ることでできるという意味もあります。これまで「お母さん」についてとか「自分の失敗」についてなどテーマを決めておこなってきたのですが、今年は「人生で打ち込んだこと」にしました。そこで最初の4人にインタビューしたときに深く感じ入ったことがあるのでご報告します。

一人目は荒井大詞。救命救急の看護師という、世の中に必要とされる仕事をしているのだが、思うところあって辞職し、車で日本一周の自分探しの旅に出ました。孤独を感じそうなものですが、「出会った人には自分から話しかける」をルールにして、銭湯やお食事処で隣り合った方々とたくさんお話しし、各地の方言も満喫したそうです。途中北海道で車が故障したときには、近くのフードコートで話しかけた女性が「うち

でバイトしな」と言ってくれ、住み込みで牛の乳しぼりの仕事を一か月したこともありませす。また、九州の野外体験を重視する幼稚園を訪ねたときも、園長先生が「うちに泊まりなさい」と言ってくれ、人間的にも素敵な方で惹かれたそうです。ただそのついでに行った鹿児島島の無人島からSNSで発信したら、それを見た北海道の知人が広島島の無人島教育を教えてくださいカトバン（加藤崇彰）と出会い、花まる学習会でやっていこうと決めたのでした。

二人目は筒井佳菜。大学4年間、地域の子どもたちに理科実験や体験を提供するボランティアサークルに所属して、イベント運営に邁進しました。山形市教育委員会のあと押しもあり、県内各地に遠征してまでやるようになりました。山形名物のクラゲを水族館から借りてきて子どもたちに触らせたり、一日で300個以上のスライムを作ったりしました。ショッピングモールのイオンと組んで大きなイベントをやるうと企画した矢先に、コロナ禍に突入。それでもあきらめず、県・大学・イオン各所のガイドラインを手に入れて熟読・研究し、秋にはやり遂げました。

三人目は白杵遙志。久留米大学附設の高

校時代に演劇部に所属したのですが、まるで熱病にかかったように演劇に夢中になったのでした。高校3年間を「演出」一筋で過ごし、福岡県で優勝して九州大会に出場空いている時間も芝居を観に行ったりシンポジウムがあると聞くと聴講に出かけたりしていました。東京から来たある劇団には、ただ観るだけではなく話を聴きたくて「地の高校生です」と打ち上げにも上がりこみました。大学進学で上京してからその劇団を訪ねると「ああ、あのときの高校生か！」と大歓迎してくれ、それがご縁で演出手を任せられました。ちなみに一緒に演出助手をしていた先輩がいまの妻です。

四人目は前原匡樹。彼が東大で4年間ハレーボールをやっていたことは知っていたのですが、今回打ち明けてくれたのは、何か自分を鍛える経験をしたと、「ぼろんたす」という別のサークルで重度肢体不自由者の介護を4年間やっていたこと。担当していたのは先天性疾患で基本寝たきりでも聞き取りづらい大人の男性だったのですが、ご自宅での泊まり込みで着替えや食事・風呂・下の世話などをすべてやっていました。頭はしっかりした方で、だんだんわかってくる先回りして何かやると違うと言われた

『科学的根拠(エビデンス)で子育て
教育経済学の最前線』

高濱の本棚

中室 牧子 著
(ダイヤモンド社)

『学力』の経済学」でエビデンスの重要性を説いて旋風を巻き起こした著者による1冊。本書は、前著の魅力をさらに増し、保護者向けに書かれている。「子育てに成功した親の話はアテにならない」「非認知能力はどうしたら伸ばせるか」といった、親だったらそこを聞きたいというテーマごとに、科学的に信頼できるデータを示しながらアドバイスしてくれる。「エビデンスには信頼の階層があり、合理的判断を助ける補助線にすぎない」といった注意点に気をつけて読めば、子育ての大いなる指針となるであろう。

花まるだより 2025年4月号

(令和7年4月15日発行)

編集・発行 株式会社こうちゅう
花まる学習会
発行人 高濱 正伸
企画・編集 久慈 菜津紀・生井 ちま
編集 金井 彩・清田 奈雨
坂田 翔・高橋 奈穂・平山 真康
デザイン 春日 梨沙・西野 奈布子
印刷 アークランド株式会社

りして、ただの「段取り」ではなくその日の相手の心・興味関心にアンテナを張って質問や提案をすることが大事だと学びました。私（高濱）が驚いたのは、10年以上も付き合っただけでなく、その素敵な経験や打ち明けてくれた奥ゆかしさです。いつも不平不満ではなく「こうしたらどうか」という提案しかないし、教室長としても大人気である彼の、氷山の下の部分を見た気がしました。

4人に共通するのは、己の生き方や哲学を深めなければならぬ青年期に、「コスパみたいなケチ臭いことを言っていないで、人間の根っこを深め、人としての心を強く

たくましくするユニークな活動に、自らの決断と意思で踏み出してやり遂げていることです。こういう悔いのない若い行動と思考の時期があればこそ、社会人として迷いない生き方もできるでしょう。本当に素敵な仲間と集まっていることにしみじみと感謝の念が湧きました。

ところで、つい先日、信頼する超大企業の役員の方とこんな話をしました。現在の大国リーダーの行動などを見てみると、我々が戦後習ってきた良しとする価値観が吹き飛ばされるような現実が提示されている。また一方で技術革命が起こり、記憶して早く正しく答えるとか論理的に間違いが

ないというような、旧来のテスト優等生が褒められる価値基準では、すでに世界は動いていない。「合理性・正しさ」においては今後AIがすべて人間を上回る。もうすでに「ストリートファイトの強さ」のような論理的には曖昧や矛盾に満ちた、ある意味人間味あふれる押し強さや決断力のあふれるリーダーのいる組織が生き残れるような時代である。彼が思うにそういうなかで唯一新時代の教育をすでにやっているのが花まるで、良い例が「野外体験・無人島教育」や「花まるエレメンタリースクール」ではないか、と言ってくれました。

どんな時代にも生き残り、まわりを幸せにして人生を満喫できる大人になれるように、根っここの確かな素敵な仲間たちと「新しい教育」を考え抜き、構築していきたいと思えます。今年度もよろしくお願ひいたします。

花まる学習会 高濱 正伸

今年も高濱が紹介します！

タカタコ

全国の花まる教室長、約150人をまるっと一年かけて高濱が直接インタビュー！ 高濱による他己紹介「タカタコ」で、みなさんの教室長を紹介します。今年のテーマは、「私の極み」！ 本気で挑んだこと、情熱をもって取り組んだことから、教室長一人ひとりを深掘りしちゃいます。サマースクールや雪国スクールで会ったリーダーたちも探してみてくださいね！

花まるの夏

サマースクールがはじまるよ!

花まるの夏を満喫!

ファイヤーがおすすめ!



花まる 健治



サムライの国

仲間を信じて戦つていく意味がある

ピカピカがおすすめ!



花まる 翔



川遊びの国 (越後湯沢エリア)

どう遊ぶかは自分次第!

ランカーがおすすめ!



花まる 征太郎



秘密基地作りの国

校葉土、ロープ... キミのアイデアで基地になる!

アニマルがおすすめ!



花まる 優太



わくわくアドベンチャー

川も基地もカレしも100人鬼ごっこも! 楽しみたつぷりの4日間!

やみ〜がおすすめ!



花まる 水久哉



川遊びの国 (南アルプスエリア)

綺麗な川、キャンプ飯、満天の星... 雄大な自然のなかで五感をフルに使う3日間!

ぶらぶら〜がおすすめ!



花まる 翔太



夏休み港町大作戦

海山、空をカヌエでパチリ! 何に心が躍るか自分を知らぬ大冒険!

キミの挑戦を応援するよ!



キミに花まる!



子どもだけで行くサマースクール



親子で行くサマースクール

NEW

親子コースを増設! 両方に参加できるようになりました!



自慢は2つ。小3から高3まで持久走大会はすべて学年1位でした。持久的走力という武器のおかげで、1番打ち込んだサッカーでも長友選手ばりにずっと走り続けてもバテずにプレイし続けられました。もう1つは生き物好き。小学生の頃はカナヘビが好きで好きで、しかし家では飼えず。先生に交渉して学校の水槽で12匹もカナヘビを飼育し孵化にも成功しました。 | 野田おさる一樹

初めての挑戦を応援!

大いそがしの中学生にもおすすめ



みんなと一緒に
勇気100倍!



年長コース



1泊でも盛りだくさん!
海びらけそう!



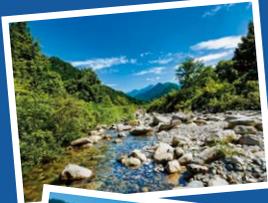
1泊コース



カモ合わせて
大自然に挑もう!
「友達」から「仲間」へ



小3以上 River探検隊



高学年だからこそその
チャレンジも!

- サムライの国
- 秘密基地作りの国
- わくわくアドベンチャー

自分の夏を極める!

リピーターも多数!

極める夏に!



高濱先生や仲間たちと語りあい、
自分の人生を見つめよう



小6以上 高濱先生と行く修学旅行



「ないではなく、あるを見るべし」
サバイバルに挑戦だ!



小6以上 究極の野外体験 無人島コース

花まる野外体験で宿泊をとまなう企画に2回以上ご参加いただいた方がエントリー可能です

花まるサマースクール
申込エントリーは

5/14 水

19:00 まで!



申込エントリーのオキテ

余裕をもってまずはエントリー!

最終日はアクセスが集中して
サイトが混雑します

必ず
入れよう!

第1希望
自分が行きたいコース

第2希望
抽選になっていないコースから選ぶ

POINT 02

申込コースの変更は、エントリー登録完了メールにあるURLから可能です。変更専用のID(10桁の数字)とご自身で設定したパスワードをご入力ください。申込期間中は、何度でも変更可能です。

POINT 01

申込期間中、第1希望の申込状況をサイトで毎日更新します。第2希望に入れたコースが抽選となった場合、第2希望として無効となってしまいますので、抽選になっていないコースをお選びください。

参加コースの決定は、5/21(水) 19:00頃です。

会員マイページをご確認ください。

二次募集期間は

5/21(水)~5/23(金)19:00です。

※5/26(月)結果発表





なぞとき探偵団

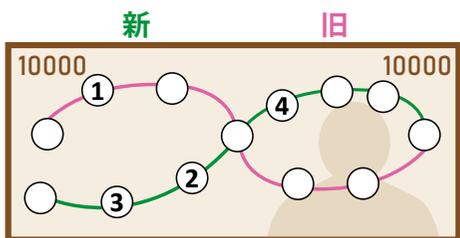


～春の親子探偵団 ver.～

親子探偵団には、さまざまな力がもとめられるよ！

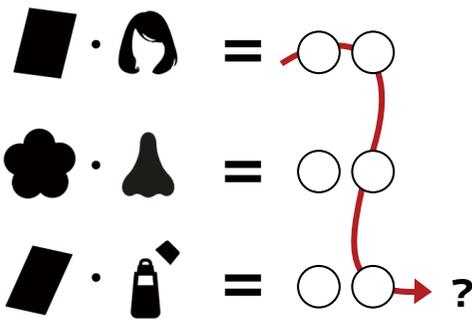
こくご・さんすう・りか・しゃかい・おんがく…そして、ひらめきの力。ときにははらべてみてもOK！
ぜひちょうせんしてみてくださいね！ さいごのこたえまでたどりついたキミは、探偵団のそしつあり!!!

問1 しゃかい×ひらめき

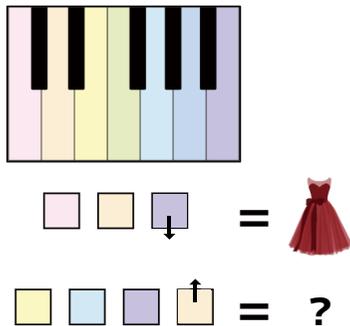


① ② ③ ④ = ?

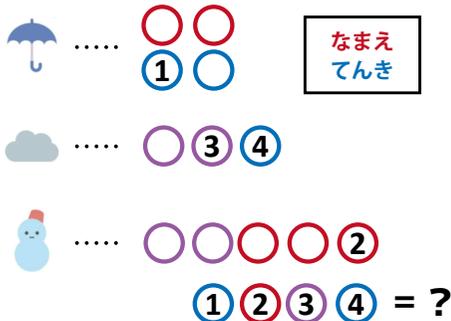
問2 こくご×ひらめき



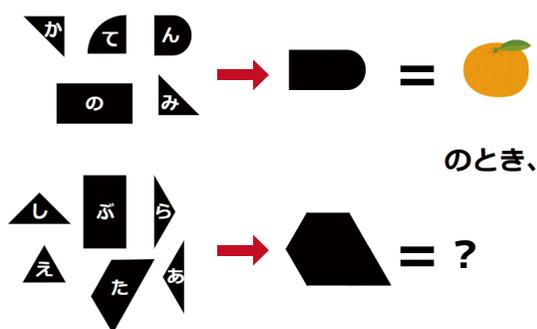
問3 おんがく×ひらめき



問4 りか×ひらめき

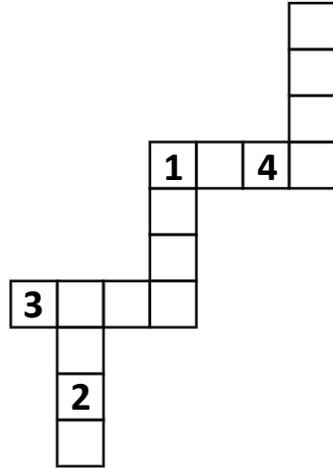
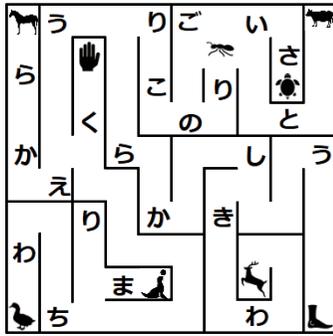


問5 さんすう×ひらめき



最終問題

1 2 3 4 1 2 3



あきらめずに
やってみてね!

さいごのこたえ

□ □ □

かいどう
解答はこちら!



出題：山田 悠人
(シュート)



出題：柳澤 隼人
(アンソニー)

6/1 (日)開催!

花まる親子探偵団 ~ 2025 春 ~

親子で探検しながら新発見!

そのエリアの歴史に触れながら、足を使って頭も使って、なぞときに挑むイベントです。

日時 6/1 (日) 10:00 ~ 16:00 (雨天中止)

対象 花まるグループに在籍している小学1 ~ 6年生とその家族 (きょうだいは年齢制限なし)

会場 関東近郊

※会場は、参加が決定したご家族にご案内します。
詳細は、当日までのお楽しみです。開催日までに、会場のヒントが記されたクイズを参加者のみなさまにお送りします。

定員 40家族

お申し込みは先着順ではありません。この5 ~ 6 ページのクイズ (全6問) と「さいごのこたえ」にご解答いただき、正解数が多いご家族から順にご案内いたします。

正解数が同じで定員を超えた場合は抽選を行います。
※参加の決定については、5/19 (月) にメールでお知らせいたします。

参加費 12,000 円 + 税 (親子2名で参加の場合)

※人数を追加する場合は、大人1名4,000円 + 税、子ども1名2,000円 + 税をいただきます。
※参加費は、7月分の授業料とともに自動振替いたします。
※参加決定後のキャンセルは、次の通りキャンセル料を申し受けます。
5/25 (日) 以降20%、開催前日50%、当日100%

申込締切 5/14 (水) 19:00

申込フォーム https://www.hanamarugroup.jp/usersystem/enquete_pre_form.php?en=6484

お問い合わせ 花まる親子探偵団 本部
tanteidan@hanamarugroup.jp
(担当：白杵)



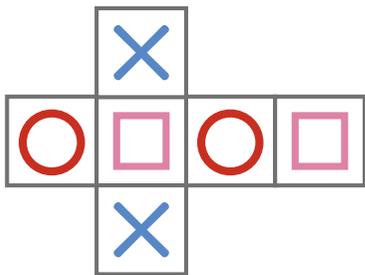
【注意事項】

- ・親子探偵団の当日は、LINEを使用したミッションが出る可能性があります。LINEアプリをダウンロードしたスマートフォンをご用意ください。
- ・イベントの様子を撮影し、花まる学習会のHPやSNS、花まるだよりなどに掲載する可能性があります。ご了承ください。





こんげつ
今月のレインボータイム



そうい くふう
【「相違？」工夫】

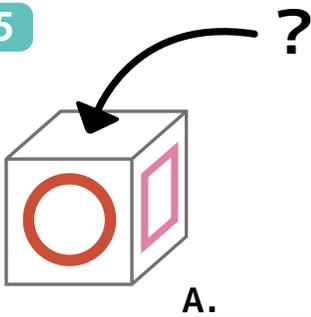
ひだり てんかい す かたち りっぽうたい つく
左の展開図でサイコロの形(立方体)を作ります。
おなじもようのめんがくつつかないようにそれぞれならべたとき、
「？」にどの記号(まごう)が入るでしょうか。
まわりの記号をもとに、グレーの面(めん)に何が(なに)入るかも考えて
みましょう。



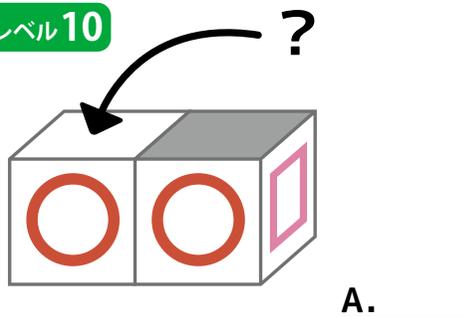
「？」の解答は

みずぐち れい はな がくしゅうかい
出題：水口 玲 (花まる学習会)
(しえふ)

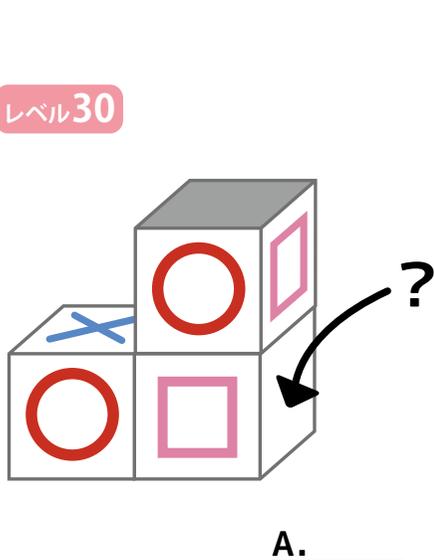
レベル5



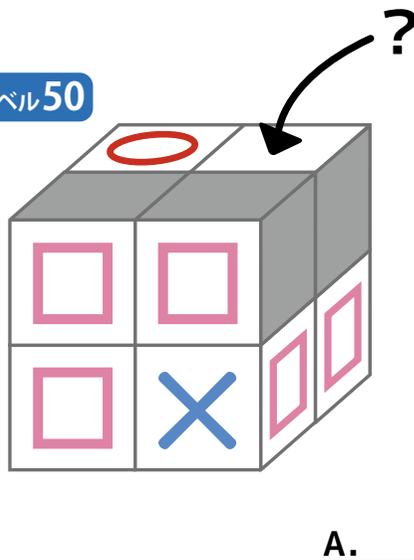
レベル10



レベル30



レベル50





はしもと かずま
橋本 一馬
(職人)

花まる学習会教室長。
家具職人だった経歴から
ミドルネームは「職人」。

狩猟免許、ブッシュクラフトアドバイザー、古代発火法検定など、さまざまな資格や技能を織り交せた教育的アプローチが好き。キャンプ行きがち。アイス食べがち。

アウト・ドア。それは、家の外ではなく、安泰の外。コンフォートゾーンの内側で冒険が眠りつくとき、ドアは現れる。しかし、思い切ってドアの外に踏み出せば、そこにはきっと人生を変えてしまうような「何か」——「すてきなサムシング」が待っている。これは、職人がアウトドアで見つけたサムシングのレポートである。

職人の アウトドアレポート すてきな サムシング

サムシング①「ハビキャン、はじめました」

無人島で多くの子どもたちを迎えているうちに、気づいたことがある。それは、「ここが子どもたちの最後の目的地になっているんじゃないか」ということだ。花まる子ども冒険島は野外体験の集大成。野球でいえば甲子園。それは混じりつけない素晴らしいことだ。しかし、そのあと彼らの冒険はどうなるのだろうか？合格しても勉強を続けること。引退しても運動を続けること。それが「学ぶこと」の核心的な価値なのだしたら、「大人になっても冒険を続けること」。それにも同じ価値があるはずだと思っただ。キーワードは「習慣」。いわば甲子園のような非日常の大冒険に対する、草野球のような日常的な小冒険。そんな「習慣的な外遊び」によって、冒険し続ける大人になること。それが「メシが食える大人」になるための、野外体験のもうひとつの目的地ではないか。そんな想いが膨らんできて、新しい企画のかたちが見えはじめた。

そんなわけで涙とともに無人島に別れを告げ、神奈川に戻ってきた。0からの出発。やったこともなく、見たこともないものを作らなければならぬ。しかし、これもまた新しい冒険。やってやるぜい。まずはコンセプトだ。イメージは、早い、うまい、安い、を繰り返すような感じ。第一に「早い」こと。手軽でなければ習慣にならないからだ。もし吉野家があったとしたら、日本人が一生のうちに食べる牛丼の量は中華丼くらいになっていたはずだ。

たぶん。さておき、外遊びの手軽さとは、日帰りできることではなからうか。つまりは近さ。ということ。関東近郊で、自然の中ののびのびと遊べて、お財布に優しいキャンプ場……？ そんな場所あるのか。うーん、ある。

清津峡キャンプ場は、神奈川の表丹沢にある昔ながらのキャンプ場である。個人的に10年くらい前から利用していて、遊び慣れた場所でもある。オーナーの沖西さんは音楽と外遊びに詳しい人だ。管理棟にはいつでも弾けるようギターが立てかけてあり、ラジオからは洋楽が流れている。たくさん山の遊び方を知っていて、クルミやクワの実を採ったり、ミミズでマスを釣ったり、竹トンボや竹馬をその場にあるものであつという間に作ったりする。子どもたちの好奇心と主体性をくすぐる人間と自然。そして日帰りできる立地。これほど条件が揃った環境はそうないだろう。ここに自分のいままでのキャンプの知見を注ぎ込む。一何ができるのだろうか。考えただけでもワクワクしてくる。ああオレは、こーやって生きていくんだ。

「習慣的な外遊びのきっかけをつくる」。そのために、新しい野外体験をはじめた。それは習慣(Taboo)と外遊び(Camp)の掛け合わせ。それでは、オレが作った曲を聴いてください、「ハビキャン」。

※次回は7月号に掲載予定です！ どうぞお楽しみに。

花まる学習会 橋本一馬

清津峡キャンプ場



車で行けず、電気やガスもない。また「不便と自然」が残されていて、ちょっと無人島に似ている。ハビキャンのフィールドとしてはうってつけの場所。

ひとりひとつの焚き火



ハビキャンの焚き火はひとりにひとつ。焚き火にはその人の自然へのかかわりが投影される。自分の焚き火を持つことで、自分なりの自然観が深まっていく。

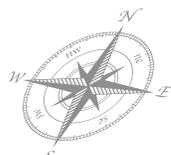
料理



料理のおいしさは、どれだけ自分が関与しているかで大きく変わる。だから手巻き寿司のように「ちょっと自分で作る」要素を入れる。チキン、アボカド、トマトをハニーマスタードであえたタコス。

今どうしてる？

卒業生物語



花まる学習会・スクールFC卒業生のその後に迫ります。
第27弾は、実力派ぞろいのクラスで受験を乗り越えた、
伝説の卒業生にインタビュー！

ようこそ先輩!!



常陰 崇生さん

【花まる学習会】ときわ幼稚園教室(小1~3)
【スクールFC】南浦和校(小4~6)
*担当教室長：高濱正伸・川波朋子・新井征太郎・仁木耕平(ほか)
【進路】栄東中学校・高等学校→東京大学
【現在】大学生

高 クワガタ体操はみんな必ず覚えていたんだよ(笑)

常 教室では、算数大会でMVPに選ばれてもすごく嬉しかったのを覚えてます。自動ペンという、おもしろいものももらいました。

高 小さな冒険や成功体験を繰り返して自信をつけていったんだね。

■FCの思い出
高 FCの日々で印象に残っていることはある？

常 理科と国語がなかなか伸びなくて。仁木先生にもすごく叱られたのを覚えてます。

高 どうして叱られたの？

常 宿題で解答を書き写したり…。

高 はははは(笑) それは叱られるよな。

常 あのとときの仁木先生は本当に怖かったです。

高 崇生に本気で向き合ってくれたんだね。

■受験生時代の心の支え
高 どうやって受験を乗り越えたの？

常 ずっと続けていたサッカーに支えられていたと思います。

高 受験期も辞めずにやっていたのか。

常 少年団のクラブチームを辞めてからも自主的に続けていました。サッカーをして

いて自習室に行かず叱られたこともありま
す。サッカーはリフレッシュにも、はけぐ
ちにもなっていましたね。

高 受験勉強以外の居場所や熱中できるもの
が支えになったんだね。栄東中に進学し
てからも続けたの？

常 中学・高校と6年間続け、ミッドフイ
ルダーやセンターバックを担っていまし
た。

高 いいねえ。好きな選手はいるの？

常 元サッカー選手の鈴木啓太さんです。

高 浦和レッズファンなのか。

常 いまも現役のファンです。

高 ファンとしての楽しみもあるよなあ。
飽きないというか…ある年によくいかな
くても次の年こそと思える。いまもスポー
ツをしているの？

常 大学では運動部のバドミントン部に入
りました。

高 なるほど、体が仕上がっていると思っ
たよ。社会に出ても健康と体力は大事な資
本の一つだから、スポーツに熱中できると
ものすごくいいんだよ。

■大学での日々とこれからのこと
高 大学では何を学んでいるの？

常 いまは農学部で農業資源経済学を専修
しています。もともと文科3類に入学した
のですが、理転しました。

高 おお。農学に興味があったのですが、高校時代
は理科と数学があまり得意ではなくて。当時
は社会が好きだったので、社会科学を学ぼう
と文系の道を選びました。

高 それでも諦めずに進みたい世界に飛び込
んだんだね。院にも行くの？

常 研究が好きなので、院に進む予定です。
でもアカデミアに残る気はなくて。社会科系
なので、シンクタンクなどで研究を続けたい
と考えています。

高 いいねえ。そうだったら俺にもいろいろ
教えてよ。6年生の崇生は自信を失ってしま
わないか心配だったけれど、本当に立派に成
長したなあ。これからも楽しみだよ。応援し
ています！

常 ありがとうございます！



これまでの卒業生物語はこちら！



こころと頭を同時に伸ばす
幼児期の子育て

Rinコラム

67

「みて！」「みる！」

「私自身、図工に苦手意識があつて上手に導けないので、Rinせんせいの教室に連れてきました」「ほめ方や認め方を、私が学びたいんです」保護者の方にそう言われることがよくあります。

日々子どもたちがつくる作品を目にして、「上手だね」「それはなに？」といった言葉しかかけられていなかった、と苦笑いしながら教えてくださる保育士さんやお母さんもいます。

最近 ある保育園で保護者向けに記録していた授業中の動画を見返す機会がありました。その映像には、子どもたちの創作の様子や、わたしとのやり取りが収められていました。

「赤い色がここについた！」「すごい色になってきた……」「見て！ 黒くなった！」

子どもたちは、「聞いてほしい、見てほしい」と言わんばかりに生き生きとした声をあげています。そのなかで、私はどんな言葉をかけていたのだらう、と改めて動画を確認し、あることに気づきました。

私は彼らの息づかいが感じられるすぐそばで、ただ見守っていました。なにかをさせようとも止めようともせず、なにも声をかけていませんでした。

彼ら自身の言葉が、内面から自然に出てくる瞬間までは。

いちばんの発見は、「見て！」という言葉に対して瞬時に「見る！」と返していたことです。「な

あに？」でも「見ているよ！」でもなく、ただ「見る！」。きつと彼らがほしいものは、「あなたのことを知りたいんだよ」という私の想いだけなのだ、とでもいうように。

そもそも表現活動に、上手い下手はない。正解に向かうこと、上手であること、を求めるのをやめると、子どもたちは自分がいま最も関心のあることに向かって、自由に探求し、没頭し、驚くほどの集中力のままに自らを表現します。

さらに、「なにかであること」を求めるのをやめると、その質感や色彩の魅力、形態のおもしろさに目がいきます。

「なにか伝えたいことはありますか？」「これはどうやってつくったの？」と制作のプロセスについて質問することで、子どもたちからの主体的なプレゼンテーションがはじまりますよ、と書籍ではお話ししてきました。

しかし実際には、私が最も集中していたのは、その子の作品もそうですが、その子の「ころのありよう」でした。ただ自分のころを寄り添わせて、ころから共感していただけだったのだと思います。

先日、10年以上前の教え子が「いちばん覚えていた先生は誰？」という質問に私の名前を挙げてくれたそうです。幼児期に教えた子どもたちは、いちばん大変だった（それは大人の勝手な感想ですが笑）頃のことはすっかり忘れて、大抵は受験時代の先生のことをよく覚えていたのです。でもそれが当たり前です。彼が、「見えている」タイプの子だったのでしょうか。

「丸ごと受け止めてくれる先生だった」「最高の穴は膨らみました。意気揚々と「見て！」を伝えてくる子どもたちと同じように。

Rin (井岡由美)

Atelier for KIDs



お申し込みはこちら！



5/18(日) 10:30~12:00 やっぱ楽しい
デカルコマニー

【対面クラス】

対象 年長~中学生

定員 30名(予定) (お茶の水花まるラウンジにて)

参加費 1名3,850円(税込)

申込締切 4/30(水) 19:00

<https://www.hanamarugroup.jp/art-edu/news.php>

おうちアトリエコース

素材セットとおたよりがご自宅に届き、「Rinせんせいがつくってみたい動画」を見て、お好きなタイミングで制作をします。

Zoom(授業日の午後)またはLINE公式アカウントのやりとりにて、鑑賞会も行います。

詳しくはHPをご覧ください。

参加費: 1名3,300円(送料・税込)

申込締切: 4/30(水) 19:00

全国から
参加可能!

今日のARTレシピ 「フロッタージュ」 Nature ART

今回の創作レシピは「フロッタージュ」。触感を存分に使って素材に触れ、その上に紙を置いて、うつしとる遊びです。

動画では紙画や穴あけパンチ、または毛糸まで出てきて工作に発展してはいますが、ただひたすらに、世界のなかに存在する凸凹を探しては、うつしとるだけでもおもしろいですよね。

紙は画用紙よりも薄いコピー用紙のほうがうつしやすく、またクレパスよりも少し硬い色鉛筆やクービー、クレヨンのほうがくつきりとうつしとることができます。

動画の最後にクイズもあるので楽しんでください。身近にある凸凹は、コインやレースもありますね。ほかに発見した人がいたら、Rinせんせいに教えてね。



じゅんびするもの

- ・コピー用紙
- ・色鉛筆やクービー
- ・凸凹するもの(葉っぱの葉脈・貝殻など)



Rinせんせいが
つくってみたいよ!



つくりかたを
動画で
見てみよう



みんなの
おうちART作品を
待っています!
・レジン部門
・じゅう部門

Rinせんせいに
おくらせてみよう!



Sho
坂田 翔
Sakata

背中があいたころ

昨年、第二子となる次男が誕生しました。幸い安産でしたが、妻の心配ごとはそもそも出産の「あと」にあったのでした。

妻の入院中は、1歳10か月の長男を私が見ることにあります。妊娠初期から何度も妻と話していたのが、この期間をどう生き抜くか。妻の気になりごとはもちろん私の生き具合などではなく、長男がよく食べ、よく遊び、よく寝て、母なしで幸せに生きられるかということでした。

妻も私も一旦の子育てというものに慣れが出てから、妻は家のこと、私は仕事とある程度割り切とうまくいってました。これは2人で話し合ったことで、旧時代的な役割観から認識が進んでいない、みたいなことでは決まっていなくてもいいです。

妻は私に、「最近は何と話すたびに『家事とか子育ての分担はできてる?』『え、旦那さんそれしかやってないの!』『みたいに言われるんだけど、私が求めているのはそういうことじゃないんだよなあ。家事分担とかじゃないんだよ。別にあれこれやってほしいとかじゃないんだよ。お互いに話し合って納得しているか、ってことなんだよね。わかる?』翔ちゃん。翔ちゃんは私をニコニコさせてくれる係だからねえ」と言ってくれています。

いまの暮らしは、妻が「子どものことは私がやりたい」という性分だったことに2人で気づいた結果なのでした。ただ、恥ずかしながら私は「妻がそれで幸せなら私も幸せだろう」とくらの素朴な考えで、それは裏を返せば「妻ほどはわがが子のことをわかっていない」を当たり前にしていたことでもありました。

長男にとって、父たる私は「遊びと興奮のアイコン」であり、一緒に穏やかに眠る相手ではありませんでした。少しずつ育つ自我と感情の揺れ動きを、優しく包んで整えてくれる存在でもありませんでした。重要なことはすべて母、という状態だったのです。

さて、そんな「親子生活の素人」の私のために、妻は「生活ノート」を用意してくれていました。普段のルーティーンから始まり、「トイレには、一声かけてから行ってください」「12時までにお昼ごはんを食べて、ベビーカーで商店街の道を歩くときよく寝ま

す」など、それをなぞるだけで長男の文化的な生活が確保できるように書いてくれたノートでした。

おかげで滑り出し好調、公園で存分に遊び、新しい友達もつくり、よく食べて昼寝をし、午後も遊んで、お風呂もわいわい言いながら入って……と、ずっと笑って、楽しいことばかりでした。夫婦で最も不安に思っていたのは「就寝」のことでしたが、初めて2人きりで長男と寝る日、思ったよりもおとなしく眠りにつきました。

しかしそれから一度起き、その2時間後にもう一度起き、そこで初めて、泣きながら「ママ……」と長男が泣きました。そういえばこの日、一度も母のことを求めず、一度も「母がいない」ことでは泣かなかつたのでした。よく考えれば、彼にとって異常な一日。我慢しないはずはないのです。

初日からスムーズに事が運んだのは確かに妻のノートのおかげでもありましたが、そうか、長男こそ初めての母なしの生活で頑張っていたのだな、彼の頑張りのおかげもあって順調に思っていたのだな、と思いきり、暗い部屋で長男の背中をさすりながら涙が出てきました。初めての父と息子のねんねは、男2人が別々の理由で泣いた夜となりました。

妻の退院後は長男の「ママがいいモード」が露骨になりました。次男の授乳の最中、あいている私よりも妻の横の狭いところに体をねじ込む長男。妻は左手で長男を抱き、右手で次男を抱き、嬉しそうにしています。

その早速のたくましさも素敵だったので妻を褒めると、「背中もあいてるよ」とさらさら上をいくたくましさで返事がきました。

かつて花まるだよりのコラムでも書いたのですが、長男が生まれてすぐのころ、夜中に授乳のために起きた妻と「背中合わせ」で座ったことがありました。妻はそのとき「これが一番安心するから、一番嬉しい」と言っていました。ほかの何の作業をするよりも背中合わせでぬくもりをくれと言った妻ですが、いまやその背中が「あいている」宣言。

私は、そんな妻に全幅の信頼をおき、子どものことを任せています。それはいわば背を預けている状態ですが、きつと気張らずそれぞれの背中があつていいのでしょうか。泣いてさすられる背中、かつて合わせた背中、あいている背中、預けた背中。

わが家においては、父親として、家族の幸せにまつわるすべての責任をまっすく「背負う」覚悟さえ持っていればいいのだと思っています。そうしていつか私の背中があいたころには、みんなこの家の外にもたくさん人の幸せを見つけていると思うから、です。

花まる学習会 坂田翔

過去の「背中の役割」の
コラムはこちら！



『料理大好き小学生が
フランスの台所で教わったこと』

ケイタ 著
(自然食通信社)

長野県の山村に暮らすケイタ君は、

1歳で包丁を持ってお手伝いをするほどの料理好き。5年生になって、実家の農作業の手伝いに来てくれた海外の友人たちを訪ねて、食の本場・フランスへ料理修行に。さまざまな地域での料理作りを通して、食の多様性、生活の多様性、生き方の多様に触れられる一冊。全ページカラーで、豊富な料理の写真(レシピつき)も魅力的。



『時計づくりのジョニー』

エドワード・アーディゾーニ 作
あべきみこ 訳
(こぐま社)

手先が器用なジョニーは、ある日本国の大時計を作ろうとします。「できる

わけない」と冷やかな反応を示す周囲を気にせず、時計作りに没頭するジョニーでしたが……。『チム』シリーズでも有名な作者による繊細なペン画と、自分の「好き」を極めようとする主人公の姿が印象的。誰もが持つ無限の可能性が感じられます。



『アフリカで、バッグの会社ははじめました』

はじめました
～寄り道多め、仲本千津の
進んできた道～

江口絵理 著
(さ・え・ら書房)

ウガンダのシングルマザーたちと

協力してバッグを作る社会起業家・仲本千津さんの姿を描く「進路決定」ドキュメンタリー。「貧しい人々を支援してあげる」のではなく、一人ひとりが輝ける仕事を提供して「誰もが心から買いたいと思える商品」を作る——。世界の多様性のみならず、仕事の多様性に気づける一冊。第70回青少年読書感想文全国コンクール課題図書(中学の部)。



Vol.66

～一歩踏み出す、世界が広がる～

平沼純の



『ラチとらいおん』

マレーク・ベロニカ ぶん・え
とくなが やすもと やく
(福音館書店)

世界一弱虫なラチは、「らい

おんがいたら何も怖くないのに」と思います。すると突然小さな赤いらいおんが現れ、「強くなりたいたら、ぼくが強くしてやるよ」と、ラチが強くなる訓練を始めます。「自分を支えてくれる何か」を描いた、ハンガリーロングセラー絵本。誰の心にもある「一歩踏み出す力」が呼び起こされます。



『野球の国のアリス』

北村薫 著
(講談社)

野球好きの少女アリスは、ふとしたこ

とからすべてが逆さまになってしまった世界に迷いこみます。そこでは野球が「負け進んで最下位になったチームを笑いものにする」スポーツになっていました。怒ったアリスは……。『不思議の国のアリス』のキャラたちも意外なかたちで登場。稀代のミステリー作家による、ユーモアと感動にあふれた一冊。文庫本ではない講談社「ミステリーランド」版では、版画家の謡口早苗さんによる素晴らしい挿絵が多数収録されているのも魅力。



柳澤 隼人 (アフリニー)

花まる ころん

ぼくらの青春と橙夏

「きみって青が好きなの？」
そんな子どもたちの言葉から始まった幾年前のサマースクール。夏休み港町大作戦のコースに行った際のお話。

帽子とズボンが薄い水色、Tシャツと靴とリュックがコバルトブルーの子がいた。
「ぼく、青が大好きなんだよね」
どうしてこのコースを選んだか聞くと
「海の青がたくさん見られるから」
船で向かう特別なサマースクール。見たことがないくらい大きな船に、感嘆の声が上がる。フクワクしながら船に乗り込み、自由時間になって散策が始まる。船の甲板では水平線を眺め、海の青と太陽の反射にうっとりする子どもたちの横顔が眩しい。
「海、きれいだったね」
船内に戻り、興奮した様子で余韻に浸っている。

「なんで青春って青なんだろう」
青が好きなきが疑問に思ったようだ。
「夏には青がたくさんあるし、春は桜でピンクのイメージなのに」
「たしかに春はピンクって感じだよ。でも夏は暑いから赤のイメージもあるなあ」
そんな話で盛り上がり、このサマースクール中に青春を見つけよう、という話になった。このチームの青春探しの冒険が始まった。

探検中は青春に紐づきそうないろいろな青を探していた。近くでは透明なのに遠くだと永遠に広がっていくような海の青、晴れ渡る空の青。ある子が「信号も青だよ」と言った。色自体は緑なのに青であることとの不思議を感じていると、目の前には大きな鋸山が見える。その風光明媚な山は青々とした木を生い茂らせている。そんな光景を見ながら、海岸沿いを歩いてみんなで考える。青とは、青春とは。途中、漁師さんに大量の魚を見せてもらう。アジやイワシや名の知らぬ魚がたくさんカゴのなかに入っている。
「あれ、魚も青く見えるな」
「本当だ。銀色なのに光って青っぽく見える」
「そういえば魚って青魚があるよね」
「青って不思議だなあ」
漁師さんにお礼を言い、海岸をあとにする。照りつける太陽と照り返したアスファルトの熱気を受けて歩を進める。途中でみ

んなで地元のスーパーに行つてアイスを買った。手に持っているとすぐに溶けてしまったので、急いで頬張る。頭の奥がキーンとする。その痛みすら暑さを吹き飛ばす清涼感だと思え、心身ともに休まる。
「冷たくておいしいね」
「生き返るな〜」
「……なんかいまの僕たち、青春っぽくない!?」
「わかる！ ドラマで高校生がやってた！みんなアイスを食べるの!」
「青春ってこれか!」
「青ばっかり探していたけど目に見えない青があるのかも」
「たしかに！ なんか青っぽい感じが青春なのかな!」
「アイスの冷たさも青って感じ!」
どうやら彼らなりの青春に行きついたようだ。

子どもたちが寝る前、布団に入りながらサマースクールの思い出を聞いた。案しかつたアクティビティはもちろん、やはりみんな食べたアイスも思い出にあげる子が多い。青が好きな子にも思い出を聞いてみた。
「ぼく、この夏で好きな色が増えた。オレンジ色。今日見たあの夕方の海が忘れられない。青い海も好きだけど、オレンジの海も大好き」
「あれは俺も心を奪われちゃって言葉が出なかつたよ」
「ほくも感動した」
「アイスも青春だったけど、みんなで見たいあの海のほうが青春だったよな!」
「本当にそう思う」
「そうしたら、青春じゃなくてオレンジ夏だね!」
「なんか変なの! オレンジって日本語でなに?」
「オレンジは橙だね」
「じゃあだいたいなつだ! 変なの(笑)」
あのとき、あの仲間たちと見た夕日が彼らの青春……いや、それを超える橙夏になった。
夕方にふと見上げると映る空。人生の彩り添えるは橙夏。今年も始まる。まだ誰も知らない橙夏の物語。

花まる学習会 柳澤 隼人

Hanamaru Family

花まるファミリー

花まるの
教室長を
紹介します!

オンライン

アルゴ ...アルゴクラブ

FC ...スクールFC

英語花まる

むぎぐみ

ソトシルカラス

みんなの教室長も順番に紹介するよ。お楽しみに!



いごまはるか
生駒 春佳

東京西

埼玉県



いだななせ
井田 七星

神奈川南

アルゴ 神奈川県



かとうとしひさ
加藤 俊久

関西

愛知県



くまがいたくろう
熊谷 拓郎

宮城

宮城県



すずきやよい
鈴木 弥生

千葉

千葉県



つじいかな
筒井 佳菜

千葉

秋田県



なまいちま
生井 ちま

茨城

栃木県



のだいつき
野田 一樹

関西

大阪府



たかまますのぶ
高濱 正伸

〇〇〇

熊本県

.....リーダーネーム

.....名前

.....所属

.....出身地

サマースクールや雪国スクールで会おうね!

4月の誕生花は さくら